



「政治とカネ」をめぐる空虚な論議の末に

自民提出の改正政治資金規正法が成立

自民党派閥の裏金事件を受けて自民が提出した改正政治資金規正法は6月19日、参院本会議で野党が反対しましたが、自民・公明両党などの賛成多数で可決、成立しました。

改正規正法の主な改正事項

いわゆる「連座制」の導入

政治家の責任強化として、政治資金収支報告書の作成の際に「確認書」の作成を義務づけ、確認が不十分の場合には公民権停止の対象とする。

政党から党幹部らに渡される政策活動費

毎年大まかな使い道を公開し、領収書などは10年後に公開する。具体的な内容は「早期に検討」として先送り。

政治資金パーティの是非、パーティ券購入者の公開基準

パーティー券購入者の公開基準額を現行の20万円超から5万円超に引き下げる。

野党5会派が共同で求めた企業・団体献金の禁止や政策活動費の廃止など抜本改革には踏み込ま

ず、「抜け穴だらけ」で「検討、先送り」が多いと野党から批判が出されました。

改正規正法成立の裏で、重要法案が続々と

政治資金を巡る論議に多大な時間とエネルギーが費やされる中、国民にとって重要な法案が十分な審議も経ず次々と成立しました。

成立した重要な法律など(抜粋)と問題点

経済安保情報保護法(5/10成立)

経済安全保障上の機密情報を扱う民間人らの身辺調査を可能とする。

次期戦闘機条約の承認(6/5承認)

共同開発する次期戦闘機の輸出は、すでに解禁決定済み。その共同開発のための条約。武器輸出を厳しく制限してきた日本の安全保障政策の大転換。

食料困難対策法(6/14成立)

政府が「食料供給困難事態」と判断すれば、農家に米大豆などの増産計画の届け出を指示し、拒否すれば罰金を科す。

地方自治法の改正(6/19成立)

個別の法律に規定がなくても、自治体に対して国の指示権の特例を認める。地方分権の流れに逆行。

6月23日は沖縄「慰霊の日」……戦争いらない! NO WAR! パレード in 桜木町

6月23日は、太平洋戦争末期、地上戦が繰り広げられた沖縄で日本軍の組織的抵抗が終わった日です。3カ月にわたる激しい戦闘で、沖縄県民の4人に1人、日米合わせて約20万人が犠牲になりました。

この日沖縄では、糸満市摩文仁の平和祈念公園で沖縄全戦没者追悼式が営まれました。神奈川でも「戦争



いらない! NO WAR! パレード in 桜木町」が企画され、約1000人が参加して、新港パークまで「戦争いらない」を訴えるパレードが行われました。東戸塚9条の会の有志も参加しました。

東戸塚9条の会のHPができました!

<https://higashitotsuka9.org>

各種情報のほか、本紙バックナンバーのダウンロードもできます。



東戸塚9条の会 勉強会

7月13日(土)10:00~12:00
東戸塚地区センター
参加費無料・事前申込不要

9の日宣伝

7月9日(火)17:00~18:00
JR東戸塚駅改札口付近
ピラマキ・アピールなど

平和川柳「だれのための政」

- 慰霊の日 平和が欠ける 怖さ知る
- 一票で まともな政治 改革を
- 保険証じゃなくマイナをと 薬局が



